

## （主な意見・質問）

（問）例えば、八代中のバレーボール部でレギュラーだったが、統合したことにより部員数が増え、レギュラーから外された場合の子どもたちの心のケアをどう考えているのか。また、子どもたちのために統合すると言うのであれば、子どもたちの意見を聞いてから統合の話し合いを進めてほしい。娘は統合に反対している。

（答）教育委員会としては、子どもたちにとって部活動の選択肢を増やすことが必要だと考えている。統合により、レギュラーになれなかったなど色々あるかもしれないが、ご理解いただきたい。この学校再編整備計画は、子どもたちのことを第一に考え、より良い教育環境の中で学校生活を送るための計画である。保護者の皆さんが今の子どもたちの置かれた状況を判断し、子どもたちにとって望ましい環境とは何かについて考えていただきたいと思っている。

また、部活動については、単独チーム、合同チーム、拠点校方式の3つのパターンが考えられる。拠点校方式については、3年生が引退後、松柏中の女子ソフトテニス部が1年生のみの3名で、八代中が1、2年生で5名という状況なので、八代中と松柏中の女子ソフトテニス部を新人戦から拠点校方式としたいと考えているが、バレーボール部については、愛宕中も松柏中も新人戦に出場できるので、拠点校方式は考えていない。それぞれの学校で部員数が確保できているのであれば、最後の年は自分たちの学校で部活動を終わりたいと思う子どもたちのためにも、それぞれの学校単独で出場できるように対応していきたい。ただ、予定どおり令和7年4月に統合となる場合には、練習環境も違う状況で4月から部員を一緒にするのではなく、最後の大会後は、事前に合同練習ができる環境を整えていきたいと考えている。

（問）吹奏楽部について、12月にアンサンブルコンテストがあるが、それぞれの学校で出場し、令和7年4月から新しい学校となり一つのチームとして練習するということか。

（答）3年生が引退した後、合同練習は可能だと思うが、12月のアンサンブルコンテストは、それぞれの学校で五重奏や三重奏のチームで出場することになると思う。それ以降については、夏のコンクールに向けての準備が始まるので、3校の顧問と相談しながら合同練習について共通理解を図って運営していくことになると思う。

（意見）学校統合については賛成である。八幡浜市の年間の出生数が120人ぐらいなので、統合は仕方がないと思う。ただ、生徒会に関わっている娘がいるが、「統合後、スクールカラーを八代中の緑色から何色に変えようか。」「制服をもう少しかわいいものにできないか。」「体操服も長年の歴史や伝統があるので、どう変えたらいいか。」など統合に関して、生徒の視点からの意見をまとめたものを教育委員会に提出できればと考えている。子どもたちにとっても勉強になる良い機会だと思うので、検討していただきたい。

（答）今後、学校統合に向けて、スクールカラー、校訓、校歌、体操服、制服などを決めていく必要がある。今の意見を参考にさせていただく。

(意見) 子どもの人数が少ないから統合は仕方がないという理由だけで話を進めるのはやめてほしい。  
結局は、大人の都合だと思うので、子どもの数が少ないからこそ、別の方法で対応する等、前向きな意見がないと賛成できない。

(答) 学校再編整備計画は、児童生徒数が減少したことが一番の要因である。子どもたちは、集団生活の中で学ぶことが大事だと思っているので、賛否両論あると思うが、統合に向け、今後も進めたいと考えている。愛宕中は、各学年 1 クラスで、松柏中は、3 年生のみ 2 クラスだが、他は 1 クラスという状況である。そういう中で、小規模校の良さもあると思うが、やはり 3 ～ 4 クラスの集団生活の中で、互いの良さを吸収し合いながら成長していくことも大事である。

また、保内中と青石中が平成 29 年 4 月に統合し、学校名は保内中と決まったが、統合後のアンケートを実施したところ、統合前に不安を感じていた生徒が多かった青石中の方が統合して良かったという割合は高かった。その中には、「統合後、いろいろな人に出会い、人それぞれいろいろな考えや個性があることを学んだ。」という意見もあった。八代中が双岩中と真穴中と統合した時にもそれぞれの学校の子どもたちが持っている特性や良さなどを肌で感じていたのではないかと思うので、統合について理解していただきたいと思う。